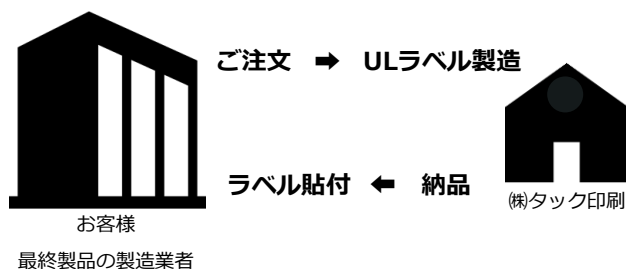


PGDQ（印刷ラベル）の印刷方式について

マーキング アンド ラベリング・システム（PGDQ）は、ラベル印刷業者・加工業者で製造した印刷済みラベルを対象とした規格です。

原則として、このラベルは UL969 の評価試験で定められた印刷方式で印刷（印字）され、ダイカットし（抜き加工）、仕上げられた印刷ラベルとして販売されます。

ラベルは、最終製品の製造業者・お客様によって追加の印刷（印字）が行われることについては、規格対象外となります。（追加印字が必要な場合は、PGJI の規格となります。）



カタログ No.ごとに UL969 の評価試験で定められた印刷方式（印字方式）、印刷色、インキなどが指定されています。

タック印刷は、単に印刷インキを使用したラベル印刷だけでなく、多様なニーズに対応できるよう、カタログ No.ごとにさまざまな印刷方式を取得しています。

印刷インキ

レーザー

熱転写リボン

インクジェット

カタログ No.ごとに、指定があります。各カタログ No.の資料でご確認ください。または、タック印刷営業スタッフにご確認ください。お客様のニーズにあわせて、最適なカタログ No.と印刷方式をご提案いたします。

印刷インキ・熱転写印字・
レーザー・インクジェットで
多様なニーズに対応！

それぞれの印刷方式の特徴

印刷インキ：

一般的なラベル印刷。酸化重合型インキと UV インキで取得しています。室内使用は、色の制限がありませんが、屋外使用は色の制限があるカタログ No.があります。

熱転写リボン：

バーコードやシリアル番号などの可変情報の印字に適しています。一般的に黒の印字だけです。カタログ No.によっては、色の熱転写リボンも認められています。

お客様の工場にもラベルプリンターが導入されていますが、ラインにのらないレギュラーな製品のため、タック印刷でシリアル No.や製造ロット No.を印字して納品するなどのお手伝いができます。

インクジェット：

大型のラベル印刷に適しています。また、極少ロットにも適しています。限られたカタログ No.（粘着シート）のみに認められていますが、屋外使用もカラー印刷が認められています。

レーザーマーキング：

極少ロットに適しています。レーザーマーキング用の粘着シートを選ばなければいけません。インキなどを使用していないので、耐候性、耐擦過性など耐久性があります。

近い将来、お客様の工場にレーザーマーカが導入されるため、導入前の数ロットは、タック印刷で加工をし、レーザーマーカの導入後は、レーザーマーカ用の粘着シートを PGJI の規格として購入し内製化を図る案件もいただいております。